

平成 29 年度 事 業 報 告 書

1 正会員数

期 首	64
入 会	0
退 会	4
期 末	60

2 「平成 29 年度事業計画」の進捗状況

(1) 公益法人としての取組み

①京都市との連携事業

前年度に引続き、3 月の伝統産業の日の関連イベントとして、市内の中学生・高校生及び留学生を対象とした「中高生・留学生限定！きもの着付け&和文化体験」を次のとおり実施した。

目 的	和装産業をはじめとする伝統産業に対する理解や知識を深め、伝統産業の振興に資すると共に国際交流の場として活用することを目的に、市内の中高生及び留学生を対象に、きもの着付け体験等を実施する。
日 時	平成 30 年 3 月 10 日（土）10 時～17 時 30 分
会 場	国立京都国際会館・アネックスホール
内 容	10 時～ 開会、きもの着付け体験、マナー指導 11 時～ 市内散策 15 時～ 和文化体験（①～⑤） ①茶道体験、②京組紐キーホルダー制作、③京鹿の子絞り雪花絞り体験、④金彩工芸アクセサリー制作体験、⑤ミニ提灯制作体験、その他プロカメラマンによる写真（データ）のプレゼント 17 時～ 集合、たたみ方指導、順次解散
主 催	京都市、「伝統産業の日」実行委員会
共 催	（一社）京都産業会館、（公財）国立京都国際会館
応募対象	京都市内に在住又は通学の中学生・高校生及び留学生（年齢不問）
定 員	200 名（先着申込順、うち留学生は 20 名程度）
参加費	500 円または 1000 円（地下鉄一日乗車券付き）
参加者数	合計 169 名（中学生／男性 3 名・女性 121 名、高校生／男性 0 名・女性 40 名、留学生／男性 0 名・女性 1 名、ジュニア京都観光大使の中学生／男性 2 名・女性 2 名）
内 容	着付けや和装マナー等を指導及び自由散策を促した後、和文化体験を実施した。

②地場産業振興事業

ア 京都織物卸商業組合との連携事業

京都きものオーディション開催委員会（京都織物卸商業組合他6団体）主催の「京都きものオーディション（2018 京都・ミスきもの選考会）事業」に共催として本年度も支援協力を行った。

イ THE COMPE きものと帯の実施

前年度に引続き、京都市域に位置する大学や専門学校等の学生を対象とした、きものと帯のデザインコンペの実施に伴い、同コンペ実行委員会を設置のうえ、9月から応募期間（11月20日～22日）に向けた広報宣伝を行うとともに、図案制作に役立つよう、学校（協力先）と連携して、きものと帯の意匠法や基礎知識が学べる「きものデザイン講座」（10月～11月）をキャンパス等で開講した。

- 受講者数 241名（前年度は190名）
- 応募作品数 345点（前年度は172点）
- 応募者数 283名（前年度は149名）
- 応募者在籍校数 10校（前年度は9校）

応募作品は、同実行委員会（委員長は染色家、重要無形文化財[友禅]保持者の森口邦彦氏）の審査委員14名による審査会（12月13日開催）において、審査基準（若いフレッシュな感性と現代感覚が発揮された作品であり、きもの・帯の機能性を考慮した、見て美しく着用したときにも美しく見えるデザインであることを基準に、きもの文化を未来に継承、発展させる独創性、デザイン性を総合的に審査する。）をもとに選考を重ねて頂き、入賞の最優秀賞1点（京都市長賞）、優秀賞7点（近畿経済産業局長賞、京都商工会議所会頭賞、京都織物卸商業組合理事長賞、西陣織工業組合理事長賞、京友禅協同組合連合会理事長賞、京都新聞賞、公益社団法人京都デザイン協会理事長賞）のほか入選作品に8点を選定した。

作品の展示公開は、「伝統産業の日」実行委員会（事務局は京都市）並びにホテルグランヴィア京都の協賛を得て、同ホテルにおいて「入賞・入選作品展」を開催したほか、入賞作者の表彰等についても次のとおり举行了。

なお、最優秀賞「京都市長賞」（1点）の作品は、森口邦彦委員長による監修のもと、京都染織青年団体協議会を中心とした産学公連携により製品化し、同作品展で公開したのち、受賞者に副賞として贈呈した。

	作品の展示公開	入賞作者の表彰等
催事名	H29年度 THE COMPE きものと帯 入賞・入選作品展 (伝統産業の日 2018 関連事業)	H29年度 THE COMPE きものと帯 授賞式 (懇親会を含む)
日時	平成30年3月15日～31日	平成30年3月20日 17時～20時
会場	ホテルグランヴィア京都 2階ロビー	ホテルグランヴィア京都 5階「古今の間」

(2) 法人運営の安定を図るための取組み

京都府、(一財) 京都府中小企業センターにおいては、京都経済センター(仮称) 2階の京都府中小企業センターが取得する多目的ホールの稼働率を高めるためには、隣接する展示場との一体利用を進めることが不可欠であり、そのためには所有者が同じであることが望ましいとの判断がされ、当法人へ買取りの打診があった。当法人としても安定した経営基盤を確立するため、取得することで、多様な催事が見込め、使用用途も大きく広がることに着目し、買い取る方向で交渉を進めてきた。3月22日開催の第3回理事会において、取得費用は「京都産業会館施設改善積立金」の一部を取り崩して充てることとし、多目的ホールを買い取ることの承認を受けた。

また、新たな収益事業を考えていく上で、京都市と連携を図るとともにコンサルタントに委託することも視野に入れて、引き続き検討を続けている。

(3) 「京都経済センター(仮称)」整備事業への取組み

平成31年春の竣工に向けて、2階展示場、6階事務室の内装・設備の詳細について大成建設と鋭意協議を続けている。

なお、2階展示場及び新たに取得する多目的ホールに関しては、広報宣伝・営業活動を行っていくため、施設概要を案内する速報リーフレット等の企画制作を行い、平成30年春からの申込受付に向け、展示場・多目的ホールの使用料金、予約システムの構築、運用フロー、マニュアルの作成等の協議を進めている。

3 「創立50周年記念の象徴的作品」制作の進捗状況

下記に記載する新作の制作にあたり、9月13日付けで、井隼慶人先生と業務委託契約を締結した。なお、旧作(故: 皆川泰蔵先生/ 祇園祭山鉾巡行図) については、リ・デザインの企画制作に向けて専門家等と協議を行っている。

【新作の概要】

数量	パネル6枚組1点	
題名	祇園祭(仮称)	
技術技法素材	布	綿布
	技法	ろうけつ染
	染料	反応性染料
サイズ	縦	200 cm以内
	横	560 cm以内
納期	平成30年12月(予定)	

4 庶務事項

(1) 事務局職員

事務局長以下 5 名

(2) 役員会

会議名	開催日	議事内容
監事会	5 月 17 日	・平成 28 年度決算の監査
理事会①	5 月 24 日	・第 53 期通常総会に付議すべき事項等
通常総会	6 月 19 日	・平成 28 年度事業報告書及び決算 ・理事・監事の一部改選（案） ・平成 29 年度事業計画及び予算
理事会②	10 月 23 日	・経理規程の改定 ・平成 29 年度事業報告（4 月～8 月）
理事会③	3 月 22 日	・平成 30 年度事業計画（案）及び予算（案） ・京都産業会館施設改善積立金の取り崩し ・平成 29 年度事業報告（4 月～12 月）